

## 事業報告

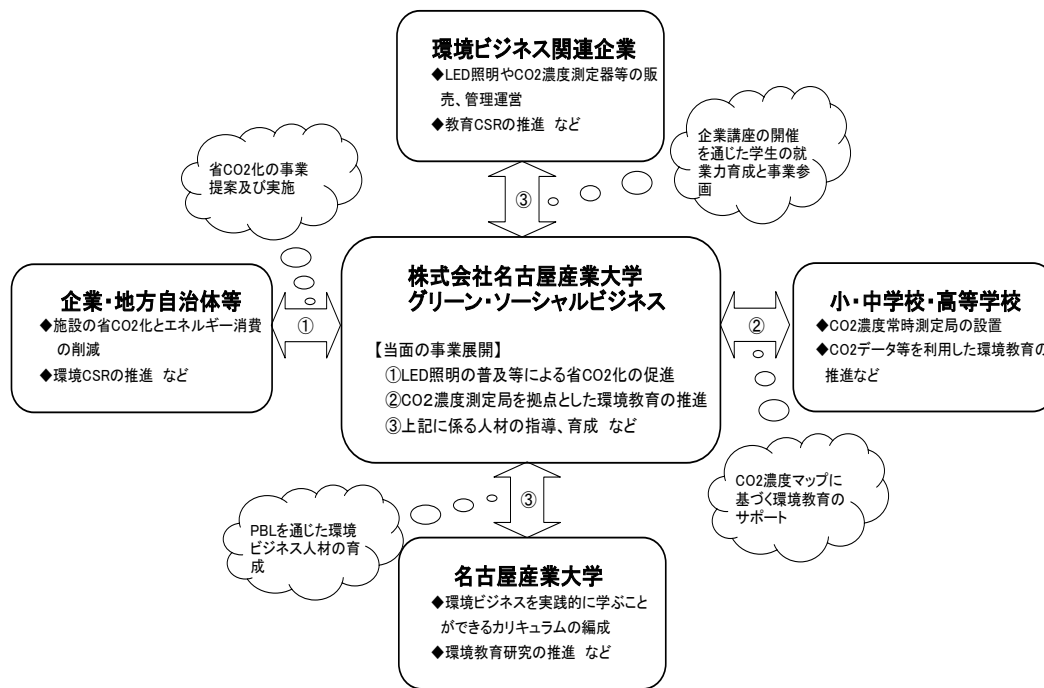
平成28年 1月 1日から  
平成28年 12月 31日まで

### 1 企業の現況

#### (1) 当事業年度の事業の現況

当社は、平成23年3月28日、大学生が環境ビジネスを実践的に学び、低炭素社会の実現に貢献する場として、名古屋産業大学尾張旭キャンパス内に設立されました。当社設立の目的は、環境ビジネス関連企業との連携のもとに、大学生が中心となって会社を運営することを通じて、CO<sub>2</sub>をテーマとしたソーシャル・ビジネス（社会的事業）を展開するとともに、環境ビジネスを担う人材の育成を行うことにあります。

当事業年度においては、以下の事業スキームに基づく事業活動の充実に取り組みましたが、その現況は、以下のとおりです。



#### ■事業スキーム

##### ① 学内インターンシップの開催

平成24年4月にスタートした名古屋産業大学の新たなカリキュラムにおいて、当社の学内インターンシップが位置づけられ、平成26年4月から実施に移されています。

この学内インターンシップは、3年次春学期の正課教育（6単位：90時間）として、①ビジネス学習の復習、②環境ビジネス講座、③PBL型実践学習の3つのプログラムで構成し、



会社運営に必要な知識の取得や企業、自治体に向けた模擬実践を行っています。

当事業年度は、学生 12 名、大学院生 1 名が受講し、「LED 照明導入の投資評価」及び「屋内空間の CO<sub>2</sub> モニタリング」をテーマに、尾張旭市消防本部、中小企業大学校瀬戸校の協力を得て、照明の現地調査、LED 照明導入の投資評価とこれに基づく提案書の作成を行い、学生が各自治体、企業に訪問し、プレゼンテーションを実施しました。また、尾張旭市消防本部では LED 照明導入の提案と併せて、屋内空間の CO<sub>2</sub> モニタリングを実施し、CO<sub>2</sub> 濃度データからみた空調制御の改善提案を行いました。学内インターンシップの実施概要は、以下のとおりです。

なお、学内インターンシップの実施に当たって、2015 年 5 月に当社と名古屋産業大学後援会と間で覚書を締結しました。この覚書に基づき、当事業年度においても学生の学習支援に対する当社のコンサルティング業務に対して、同後援会より助成が行われています。

週	内容
1	オリエンテーション：授業の概要、実習に臨む姿勢など
2	ビジネス基礎の学習(1)：仕事の進め方、会社活動、プレゼン資料
3	ビジネス基礎の学習(2)：会社数字の読み方、企業間取引、PC スキル・文書作成
4	ビジネス基礎の学習(3)：プレゼン資料の作成、EXCEL を使ったデータ解析、 環境ビジネス学修(1)：CO <sub>2</sub> 濃度測定器の解説
5	環境ビジネス学修(2)：CO <sub>2</sub> 濃度データと環境教育 環境ビジネス学修(企業講座)：CO <sub>2</sub> のクレジット化
6	環境ビジネス学修(3)：これまでの復習 環境ビジネス学修(企業講座)：LED 照明の導入提案
7	企業訪問、現地調査(1)
8	企業訪問、現地調査(2)
9	PBL 型実践学修(提案書の作成)(1)：作成準備
10	PBL 型実践学修(提案書の作成)(2)：投資評価のシミュレーション
11	PBL 型実践学修(提案書の作成)(3)：CO <sub>2</sub> モニタリング結果の集計
12	PBL 型実践学修(提案書の作成)(4)：プレゼンテーション資料の作成
13	PBL 型実践学修(提案書の作成)(5)：プレゼンテーションの練習
14	PBL 型実践学修(プレゼンテーション)：調査先を訪問し、プレゼンテーションを実施
15	PBL 型実践学修(6)：インターンシップ報告書・発表資料の作成

また、インターンシップの外部講師として以下の 2 名を招聘しました。

企業名・氏名	テーマ
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 松田理恵氏	CO <sub>2</sub> 削減量のクレジット化と販売
東芝ライテック(株) 竹中祐二氏	LED 照明運用コストと節電効果



写真 現地調査の様子

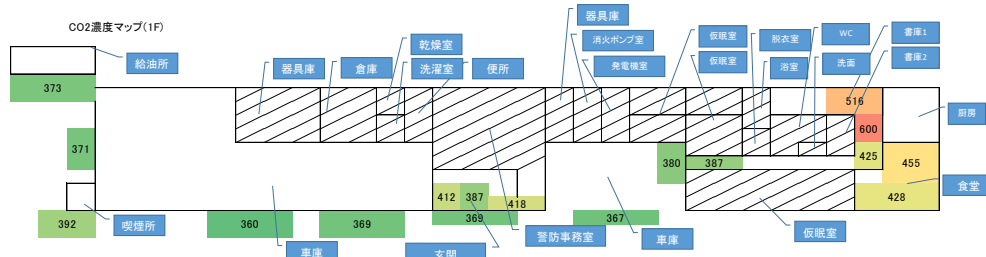
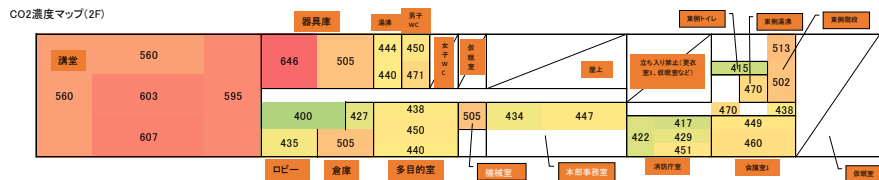


図 CO<sub>2</sub>濃度マップ

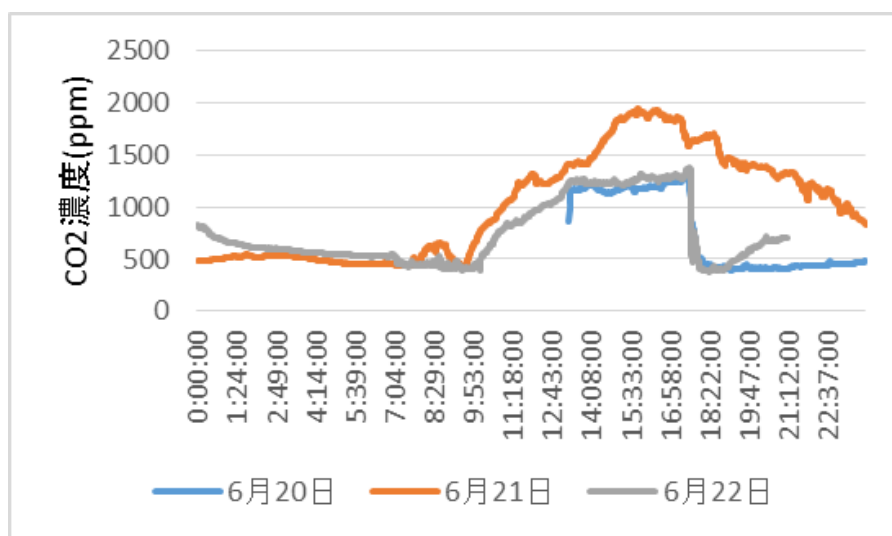


図 屋内空間の CO<sub>2</sub>モニタリング結果



写真 学生によるプレゼンテーションの様子

## ② LED 照明導入提案活動の推進

環境ビジネス講座で得た実務知識等を活かし、環境ビジネス関連企業との連携のもとに、1自治体、1独立行政法人を対象に、LED 照明導入の提案活動を行いました。

なお、当社の事業活動に当たっては、ミネルヴァ・コンサルティング(株)、(株)ラックランド、シャープエレクトロニクスマーケティング(株)、(株)ユードム、(株)バイテック、(株)サントリービバレッジサービス、(株)三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング、(株)ウェイトボックス、(株)中電シーティーアイ、以上の 9 社にご参画いただいています。

また、当社では、名古屋産業大学や環境ビジネス関連企業と連携し、大学のキャリア教育と企業の新入社員教育とが融合した新たな人材育成システムとして、「自動就活システム(ビジネスモデル特許取得済)」の導入に取り組んでいます。平成 24 年 8 月に(株)東横インと名古屋産業大学との間で協定締結が行われたほか、当社の事業活動に参画していただいている(株)ユードム、(株)ラックランド、(株)サントリービバレッジサービス、(株)ウェイトボックスと名古屋産業大学との間において協定締結済です。



### ③ CO<sub>2</sub>濃度測定局を拠点とした環境教育の推進

台湾の企業を対象に、CO<sub>2</sub>濃度測定局の開設による環境 CSR の提案活動を行いました。その結果、平成 28 年 12 月に長虹塑膠事業股份有限公司(台湾苗栗県)との間において、CO<sub>2</sub>濃度測定局の開設について合意し、平成 29 年 3 月には苗栗県内の竹南高等学校に開設を予定しています。

また、CO<sub>2</sub>濃度測定局を活かした環境学習拠点の形成に向けて、平成 28 年 11 月には、「ヒーサーの森」を会場とし、「里山における環境学習と学校間交流」をテーマに、名古屋産業大学、三重大学、鈴鹿中・高等学校、株式会社赤塚植物園の共催による「地域が応援するキャリアアップセミナー」が開催されました。このセミナーでは、名古屋産業大学の伊藤雅一教授(当社代表取締役)が基調講演を行い、岡村聖教授(当社取締役)が、フィールドワークの講師を務めました。

### ④ 公式ホームページの運営

平成 23 年 8 月に当社の公式ホームページを開設しましたが、当事業年度においても、学生による会社運営の一環として、学生の手作りによって製作、運営を行いました。

## (2) 対処すべき課題

当事業年度の学内インターンシップについては、①ビジネス学習の復習、②環境ビジネス講座、③PBL 型実践学習の一連のプログラムを実施しました。

また、LED 照明の事業提案件数については、第 5 期事業年度の成果を踏まえ、年間 4 件から 10 件程度への拡大を目指しましたが、2 件にとどまると同時に、成約実績を得ることができませんでした。提案件数の拡大が課題と言えます。

今後は、学内インターンシップを履修した学生の事業活動への増加を促し、課外活動として、学生が当社の事業活動に参画する仕組みづくりの強化を図ります。

また、当社のビジネスモデルは、LED 照明の導入と社会貢献としての環境教育が連動したものであり、他社との価格競争に追従することは難しいため、環境 CSR の視点に立った提案活動を強化していく必要があります。

CO<sub>2</sub>濃度測定局の開設支援については、菊華高等学校、株式会社赤塚植物園、長虹塑膠事業股份有限公司との成約実績を踏まえ、環境 CSR に関心を持つ企業等に対して、当社独自の事業活動である CO<sub>2</sub>濃度測定局の開設や CO<sub>2</sub>環境教育の推進についても、より積極的に提案できるよう、学内インターンシップの充実を図っていきます。

また、CO<sub>2</sub>環境教育は、海外の大学や行政機関から高い関心が寄せられています。平成 28 年 3 月には名古屋産業大学と中国の江蘇大学との間で、また、平成 28 年 12 月には名古屋産業大学と台湾の国立聯合大学との間で、環境教育研究の推進に関する協定が締結されました。平成 28 年 9 月には、台湾の苗栗県環境保護局が CO<sub>2</sub>環境教育をテーマに環境教育国際フォーラムを開催、名古屋産業大学の伊藤雅一教授(当社代表取締役)と岡村聖教授(当



社取締役)と大学院生の高木祥太取締役が講師を務めるとともに、苗栗県下の3つの高等学校で環境教育を実践しました。

環境教育の普及には、CO<sub>2</sub>濃度測定器の低価格化が不可欠となります。このことは、当社の収益を活用した社会貢献活動であるCO<sub>2</sub>濃度測定局の開設コストの低減を図ることにもなります。このため、CO<sub>2</sub>濃度測定器の海外生産や企業の環境CSRによるCO<sub>2</sub>濃度測定局の開設を支援し、国内外における事業展開、事業拡大に向けた取り組みを進めていきます。

以上から、第7期事業年度(平成29年1月1日から同年12月31日まで)においては、次の事業計画に沿った取り組みを推進します。

## ① 事業計画

### i) 国内事業活動の推進

名古屋産業大学と連携した学内インターンシップを実施し、そこで得た実務知識等を活かして、①LED照明導入の提案業務、②屋内空間のCO<sub>2</sub>モニタリングの提案業務、③CO<sub>2</sub>クレジットのコンサルティング業務、④CO<sub>2</sub>濃度測定局の開設による環境CSRのコンサルティング業務に取り組みます。

事業提案件数については、第6期事業年度の状況を踏まえ、環境CSRの視点をより重視した提案づくりに配慮しつつ、年間3件(環境CSRのコンサルティング業務を含む)から6件程度への拡大を目指します。

### ii) 海外事業活動の展開

名古屋産業大学と台湾の育達科技大学、国立聯合大学、苗栗県環境保護局との連携、さらには中国の江蘇大学との連携を踏まえ、当社としては、引き続き環境教育で使用されるCO<sub>2</sub>濃度測定器の低価格化を促すため、海外における現地生産、現地販売の体制づくりの支援に取り組みます。

### iii) CO<sub>2</sub>濃度測定局を拠点とした環境教育の普及

一般社団法人日本CO<sub>2</sub>濃度マップ普及協会との連携も図りながら、CO<sub>2</sub>濃度測定局を拠点とした環境教育の普及やCO<sub>2</sub>クレジットの市場開拓に取り組みます。また、CO<sub>2</sub>濃度測定局の収集データについては、都市地域のCO<sub>2</sub>削減の指標として活用できるよう、環境情報コンテンツの開発と製品化について調査研究を進めます。

### iv) 環境ビジネス人材の育成

上記i)からiii)の活動を通じて、名古屋産業大学の学生を対象に、学内インターンシップを通じて、学生による会社運営の本格化に向けた取組を進めます。また、当社の産学連携による教育システムについては、ビジネスコンテンツとしてのブラッシュアップを図ることで、インターンシップ支援事業への参入可能性についても検討を進めます。



## ② 事業スケジュール

LED 照明導入提案活動など国内外における事業活動の強化と、その収益を活用した環境教育の普及活動の継続的な推進、さらには、これらの活動を支える人材育成活動などについては、概ね以下のスケジュールのもとに推進します。

平成 29 年 3 月 株主総会の開催

4 月 学内インターンシップ登録学生の受け入れ（正課教育）

4 月～5 月 学内インターンシップ（ビジネス基礎の復習：22.5 時間）

5 月～6 月 学内インターンシップ（企業講座：13.5 時間）

6 月～7 月 学内インターンシップ（PBL 型実践学修：31.5 時間）

8 月 学生を中心とした事業活動（正課外教育）

9 月 フォローアップ研修

10 月 フォローアップ研修

11 月 フォローアップ研修

12 月 フォローアップ研修

## (3) 主要な事業内容（平成 28 年 12 月 31 日現在）

- ① 自然環境における二酸化炭素等の濃度の測定等、環境の改善に関する調査、研究事業
- ② 自然環境における二酸化炭素等の濃度の測定器等、環境の改善、保全に関わる機器の販売、設置事業
- ③ 自然環境における二酸化炭素等の濃度の研究等、環境の改善に関する人材の指導、育成事業
- ④ その他の事業

## (4) 本社及び主要な営業所

本社 愛知県尾張旭市新居町山の田 3255-5

## (5) 従業員の状況

従業員数	前事業年度末比増減	平均年齢	平均勤続年数
0 名	-	-	-



## 2 会社の現況

### (1) 株式の状況（平成 28 年 12 月 31 日）

- ① 発行可能株式総数 400 株
- ② 発行済株式の数 100 株
- ③ 株主数 3 名

株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
日比谷 平四郎	40 株	40.00%
伊藤 雅一	30 株	30.00%
増田 博美	30 株	30.00%

### (2) 会社役員の状況

#### ① 取締役及び監査役の状況（平成 28 年 12 月 31 日）

会社における地位	氏名	担当
代表取締役	伊藤 雅一	
取締役	増田 博美	
取締役	高木 祥太	
取締役	林 敬三	
取締役	岡村 聖	
取締役	許 容瑜	
取締役	森 淳一	
監査役	日比谷 平四郎	

#### 取締役及び監査役に支払った報酬等の総額

区分	支給人員	報酬等支給額
取締役	0 名	0 円
監査役	0 名	0 円
合計	0 名	0 円